

第5回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日 時 平成28年 2月18日 (木曜日) 13:30~14:50
場 所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 特別養護老人ホームご利用者代表
グループホームご利用者代表
特別養護老人ホームご家族代表
グループホームご家族代表
知見者代表 (栃尾福祉会理事長)
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)
長岡市介護保険課
長岡市栃尾支所市民生活課
地域包括支援センターとちお
法人代表 (いずみ苑園長)
法人代表 (いずみ苑事務長)
特別養護老人ホーム管理者
グループホーム管理者
小規模多機能型居宅介護管理者 / 計 14名

欠席者 小規模多機能型居宅介護ご利用者代表
小規模多機能型居宅介護ご家族代表
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員) / 計 3名

議事次第

1. 経過報告
特別養護老人ホーム
グループホーム
小規模多機能型居宅介護
2. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について
3. その他

開 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

これより第5回みやざわ苑運営推進会議を開催いたします。

次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

1. 経過報告

特別養護老人ホーム

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

本日お配りしました資料：行事等経過と地域密着型複合施設みやざわ苑の状況です。

○ みやざわ苑の状況

人数の推移ですが、本日2月18日現在の人数です。

特別養護老人ホーム：29名。前回と変わりありません。

小規模多機能型居宅介護：16名。登録は1名増えましたが、1名抹消になりましたので変わりありません。

グループホーム：18名。12月は17名でした。本日18名ですが、実はこのメンバーでもいらっしゃる小規模多機能型居宅介護ご利用者代表が、他の施設にこれから移られるということですので、会議は欠席で委員からも外れることとなります。

— 別紙：地域密着型複合施設みやざわ苑の状況参照 —

○ 行事等経過

— 別紙：行事等経過参照、説明 —

グループホーム

グループホーム管理者

先ほどの説明のとおり、介護度4のかたですが、これから特養いずみ苑に入所になります。その後の入居のかたは3月1日をメドに調整中です。

立ち上げから10か月が経過し、入・退居含め23名のかたがご利用されました。内3名は他の施設へ、1名は看取りをさせていただきました。最初から入居いただいている15名は体調も良い状態で過ごされています。

今年度外部評価を受審します。地域密着型として、地域のかたと接しながら活動していきたいと思っています。動けるかた2、3名に職員が付き添いながら、清掃とか花壇の花植えとかですが、栃尾宮沢地区でお手伝いできるようなことはありませんでしょうか。

↓

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

清掃活動とか花壇の花植えは、区としてというよりは地域の団体として、老人クラブ、子供会での活動になっていますので、直接区で関わっている訳ではなく、そちらにつながるという形になろうかと思えます。

↓

グループホーム管理者

何かできるようでしたら参加させていただきたいので、よろしく願いいたします。

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護管理者

人数については先ほどの説明の通りです。グループホーム同様、この後の事業所評価で、地域との関わりの方法的なもの等お願いしながら、小規模だけでなくみやざわ苑全体をアピールさせていただき、少しでも皆様のご理解を広め、数字的なものも上向きにして行ければいいなと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

事前に事故の発生状況を送らせていただきました。1月が若干含まれていますが、4月から12月までの事故とみなすもの、事故には至らなかったがヒヤリとしたものの件数です。

事故とヒヤリの違いですが、事故は転倒して色が変わったとか、出血したとかいうものになります。ヒヤリは転んだというより座りこんだとか、ダメージがなかったものになります。ただ、ヒヤリでも改善策を検討しています。

1. 月別事業所発生件数について説明
2. 月別・事故類型発生件数について説明 → 一番多いのは転倒でした。
3. 月別・事故発生（発見）時間帯について説明
→ 大雑把ですが、特養・小規模は朝から夜7時頃までの、人が活動している時間帯が多い傾向になりました。グループホームは夜間0時から7時半までの時間帯が多くなりました。認知症のかた達ですので、混乱があったのかも知れません。
4. 月別・事故発生時の状況について説明

→ その他が一番多いです。不明との区分けが難しいのですが、職員の関わりがない状況で起きたものです。

次に、3事業所の詳細及び対応、改善策を記載してあります。それぞれの最後に見方の説明が出ていますが、そのような対応をしました。文字切れがありますがご容赦ください。今回初めて出しましたので件数が多くなっております。一例ずつの説明はしませんが、ご覧になっていただければ有難いです。

質 問・意見

長岡市栃尾支所市民生活課

特養の裏面11月20日の事故についてですが、事前に支所でも話をして来た中で、対応として、どう謝罪したのかと、本人の反応はどうだったのかお聞きしたいです。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

コールは通常は手元で押せる状況になっていなければならないものですが、居室の掃除の時に頭の所に掛けたものを、そのまま戻し忘れて押せない状況だったので憤慨されたとのことでした。

↓

長岡市栃尾支所市民生活課

では、そのことを伝えて、謝罪したということによろしいでしょうか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

そのとおりですが、対応が悪かったことなので、しばらく許していただけなかったそうです。

知見者代表

服薬に関する事例が数件見受けられるが、どういう状況で予防しているのか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

特養とグループホームでは違いますが、一人ずつ朝・昼・夕・眠前で色別でセットしています。多かったのが4月、5月でした。入れる時にチェックはしていますが、配薬時に間違いがありましたので、色の確認をし、入れる時、配薬時、飲む時にも声だしチェックを行い対応しています。また、朝・夕分を一緒にユニットに持って行っての間違いがありましたので、その後は1回毎にしています。あってはならないことですが、間違った場合は嘱託医に相談し、水を多く飲んでもらうとか様子観察とか指示をもらい対応しました。

知見者代表

先ほど栃尾宮沢区にお願いした連携の件ですが、情報提供を待っているだけでなく、こちらから何々をやります。というような働きかけをした方が良いのではないかと。

↓

グループホーム管理者

こちらでも考えていることがありますので提案していきたいと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

医療機関にかかった事例が6件、入院された事例が1件あったが、施設の事故例としては多いものなのか、少ないものなのか。入居されているかたの状態にもよるでしょうし、施設により違うと思われるがどういうものかと思いお聞きしたい。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

私は去年までいずみ苑にいましたが、いずみ苑とでは環境が大分違いますので、その頃に比較しますと少ないと思われます。

↓

知見者代表

いずみ苑とは規模も違うし、要介護度、環境等が違うので、簡単に比較できないと思う。入院は転倒で骨折の場合が多いのではないのでしょうか。お年寄りのかたはちょっとしたことで骨折されたり、ヒビが入ったりする状況にありがちですので…。一人ひとりの状態を良く見ながら介護してもらいたい。

↓

法人代表（いずみ苑事務長）

補足説明させていただきます。いずみ苑の場合、本当に小さなことまで全て挙げているので、数字が大きくなっています。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

昔かじったことがあるのですが、300の事例があれば、その内29が軽傷で、重症が1件あるというピラミット型になるそうなので、ここに出ている数の下には大きなものがあるということを確認して介護に当たってもらいたいと思います。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ありがとうございます。これが多いのか少ないのかはちょっと判断に迷うところです。

↓

長岡市介護保険課

入院レベルの長岡市への報告は、数的には1件／2～3カ月位あるかなと思う。原因

究明、改善についてしっかりやってもらいたい。

2. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

小規模の事業所評価に移らせていただきます。

小規模多機能型居宅介護管理者

前回に引き続きご協力いただきたいと思います。先ず、前回皆様から色々ご意見をいただきありがとうございました。今回、配布させていただいた事業所評価の用紙ですが、縦様式のもの3枚、横様式のもの1枚です。

最初に、縦様式の地域かかわりシート②は、前回の会議において各項目皆様から挙手していただいた人数的なものが一番上の数字になっています。

各項目については、皆様にいただいたご意見と、それを踏まえ小規模職員全員で検討したものが、下の改善計画に入っています。

横様式は総括表で、A～Fをまとめたものです。今回総括表を説明させていただき、再度ご意見等をいただき、確定したものと事業所評価を、長岡市、地域包括支援センターに提出及びホームページに掲載させていただく予定です。

それでは、地域かかわりシート②をまとめた総括表を説明させていただきます。

— 総括表の内容について説明 —

以上です。ご意見等ありましたら、よろしく願いいたします。

質 問・意見

知見者代表

評価項目はまだこの他にもたくさんあるのか。大事な介護がある訳で、毎年これにばかりに時間を取られてもいけないと思う。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

皆様からご意見をいただいた項目毎の改善計画に沿って行っていますが、ご指摘のとおり基本は日々の介護であり、全部を行うことは難しいと思いますので、取り組みやすいところとか、一番欠けているところ等優先順位をつけてやっていきたいと思います。

知見者代表

自己評価というけれど、行政に報告するものなので、行政がどう評価するかもあり大変だと思うが、このことで管理者や職員が頭を病んでいるようなら、日常の介護に支障を来たすのではないか。仕事量も相当なのではないかと思う。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

事業所評価を作るにあたって、全職員で取り組んで来ましたが、開所して間もなくで、色々なところに手が回っていなかった現状とか、配慮できなかった部分に気付けたという意見があり良かったところです。

知見者代表

気付きということでは有効だと思うが、計画すれば何とか実行していこうと管理する訳だが、相当の仕事量になるのではないか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

全部を達成できるとは皆が思っていないし、実際難しいですので、これならできそうというところから取り組んでいかなければいけないと思っています。少しずつでも達成に近づければということで挙げさせていただきました。

特別養護老人ホームご家族代表

よその施設も同じようにやっているのか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

他の事業所も大変だという声は聞いています。評価自体が大変な作業ですし、評価で終了ではなく、改善策も取り組んでいかなければならない訳なので実際大変ではあります。

特別養護老人ホームご家族代表

どこまでを求められているのか。関わっている職員の人数とどこまでできるのかというところがある訳です。今時点で十分なのか足りないのか、1年やって来たので分かる訳ですよね。私共にしてみれば、できればそのことよりも入居者に関わってもらいたいと思う。本末転倒というところがあるのではないか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

もちろん日々の介護が最優先と思っていますし、ご指摘のとおり評価にとらわれすぎて、本来業務がおろそかになることだけは避けたいと思っています。それでは評価自体が無意味なものになってしまいますので、気を付けていきたいと思っています。

↓

長岡市介護保険課

自己評価を作ったところによると、外部評価自体にとらわれることなく、サービスの自己改善をしてもらうことが一番ということです。何でそんなことになったかという、制度改正があって、色々な事業所が小規模に参入して来る可能性がありました。そんな時に、悪い事業所がいっぱい出て来て、良い事業所が引っ張られることがないように、自らが改善していくことが大事なのだとすることを力説されていました。

↓

知見者代表

自己評価するプロセスの中で職員の資質向上が大きな狙いになるのかも知れませんが、評価のための評価にしてはならないと思っているので、心して進めていただきたいと思います。

法人代表（いずみ苑事務長）

今ほどのご意見に関して、地域包括が委員として運営推進会議にたくさん参加されていますので、他の事業所がどんな取り組みをしているのか、どういう風に地域に関わっているとか情報がありましたらお願いします。

↓

地域包括支援センターとちお

資料がないのでしっかりとした説明ができませんが、私はもう一箇所参加させていただき、今回の評価の作業にも参加させていただいています。その中で、地域に出向いての取り組みというところでは他の事業所さんも悩まれていました。どんなことをして行ったら良いのか試行錯誤されてきました。みやざわ苑とは違い、開所して何年も経って経験のある所で、地域に発信したイベントも行っていますが、なかなか地域のかたが気軽に入れる仕組みづくりという点ではなかなかできていない。私たちも通常と考えて、気軽に施設に出向くということも想定しにくいのですが、看板の設置を工夫してみたり、広報のチラシを工夫してみたりとか、そのイベント等で人が集まる時にチラシを配布するような意見が出ていました。

防災対策についても、その事業所も年にまとめて報告とかいただいていたのですが、分かるような仕組みづくりがなかったのが、年度当初に分かるように資料を配布する等意見が出ていたようです。後はこちらと似たような意見が出ていたように思います。

特別養護老人ホームご家族代表

地域のかたが入りやすい環境づくりを求めているようだが、逆に言うと、あまり簡単に入れるのは怖いと思う。犯罪等何かが起きた場合どうやって責任が取れるだろうか。そう考えると安易に入ってもらっては困るし、その辺のことがきっちり決まっていなければ、どうぞと言えないのではないかな。対策もできていないのに入りやすいことだけを

求めているのは心配です。

グループホームご家族代表

外部の人が入って来るということは、インフルエンザ等流行のものは外部の人が持って来ることになるのではないかと。潜伏期間があり分からないことだが、心配される場所ではないかと。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

そのとおりで、感染症は何もないところから発生する訳ではないし、先程の防犯対策もできていない状況で、入りやすい環境ばかりを求めるのは、小規模だけでなく施設全体の問題であり、貴重なご意見だと思うので施設全体で考えていきたいと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

そういうことにつながるが、防犯カメラとかはこの施設にはあるのか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

一切ありません。プライバシーの関係で設置は難しいです。

知見者代表

入りやすい環境というのは、一般の人を特定しているのか。地域の人か。一般の人であれば無制限であり困る場面がたくさんあるのではないかと。思う。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

地域の人が入りやすい環境ということですので、地域というと、みやざわ苑は栃尾地域全体なので広い範囲になってしまいます。皆さんの言われた疑問的などころはそのとおりだと思いますし、行事等があると言ってもなかなか気軽に入れるとは言えないと思います。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

今言われたように、回覧板でチラシを回しても、なかなかお邪魔するというケースはないのではないかと。思います。

↓

特別養護老人ホームご家族代表

花火の時に家族の人を呼んでいるが、地域の人にも声をかける等どうか。そういうことをやれば地域とのつながりが出てくるのではないかと。

知見者代表

待ちの姿勢ではなく、自分たちでプランして「いかがでしょうか」とやる方が、交流はやりやすいし深まっていくと思う。特別養護老人ホームご家族代表が言われるように、そういう機会があるならば、「遠い花火を楽しみましょう」というような呼びかけをしたら良いのではないかな。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

そういう風にやれるところから取り組んでいきたいと思います。

ありがとうございました。他になければ、今いただいたご意見を参考にさせていただき、少しずつ改善できればと思います。花火とか老人クラブとのつながり、防犯の観点等を含めて取り組ませていただきます。小規模の評価は今回で終了となります。ありがとうございました。

3. その他

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

私ども運営推進会議は初めてなもので、本当にご意見をいただくだけの場になっていますが、他の事業所さんですと、昼食の時間に開催して食事の感想をいただくとか聞いています。いつも13時30分からの開催ですが、すぐでなくても、時間をずらしての開催があっても良いのかなとも思いますが…4月はこれまで通りでよろしいでしょうか。

今後の内容について、特に皆さんから話題がないようであれば、こちらで用意してお諮りしたいと思います。よろしく願いいたします。

閉 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

1時間を少し超えてしまいましたが、本日は大変ありがとうございました。

- 第6回運営推進会議開催日について
平成28年 4月21日（木曜日）13：30～